

じゃりみち

かわら版

あゆ

発行日 1996. 2. 9

阪神大震災地元NGO救援連絡会議
仮設住宅支援連絡会

TEL: 078-362-5951 / FAX: 078-362-5957

E-mail: ngoteam@mb.osaka.infoweb.or.jp

口座番号: 01180-6-68556 (郵便振替)

今回は、「じゃりみち」と「かわら版」が合同で雲南情報をお届けします。

中国雲南省大地震緊急救援活動（第二報）

震災は、国も場所も選ばず突然襲って来ます。昨年おこった阪神淡路大地震は、私達に人的、物的にも甚大な被害を与えました。その際、いち早く救援活動に立ち上がったNGO救援連絡会議の皆様に対し心から敬意を表します。

今回再び私達の祖国中国雲南省でおこった大地震による被害者に対し、救援活動に御奔走して下さっているNGOの皆様には華僑を代表して心から感謝申し上げます。「人類愛」は、三つの文字を書くだけでは実現しません。又、口に出して言うだけでも、実現できません。NGOの皆様の行動こそ真の人類愛と言えると思います。

神戸華僑総会 会長 林 同春

第一報後の進展をお知らせします。

1. 神戸華僑総会（林同春会長）のご活躍により、現地との連絡が取れ支援活動が進展しており、地域内国際協力で支援の理解が得られて、良いネットワークが生まれつつあります。
2. 物資の荷受人が決定しました。雲南省僑務弁公室（Overseas Chinese Affairs Office of Yunnan Province）です。
3. 輸送ルートが半分決まりました。
南方航空が、関西国際空港・・・広州は定期便で空きスペースに搭載してくれることになり、広州・・・昆明・・・麗江のルートは現在設定中です。
4. 物資はかなり集まっていますが、衣料品・毛布は新品に限ることを徹底していただきたい（中国政府の意向）。また、発送日程が決まるまで何処に何がどれくらいあるかをNGO連絡会議まで連絡の上、すぐに発送できるように待機して下さい。
5. 支援ネットワークが広がりました。
阪神大震災地元NGO救援連絡会議、コープこうべ、神戸YMCA、神戸YWCA、
（財）兵庫県国際交流協会、（財）神戸国際協力センター、（財）神戸国際交流協会、
アジアアフリカ環境協力センター
6. 団体・個人を問わず申し出が相次いで、事務局の電話は鳴りっぱなしです。また、届いた物資はカトリック社会活動神戸センターで”ちびくろ救援ぐるうぶ”を中心に仕分け作業をしています。
7. 今後は(1)ルート及び便名決定、(2)積み込み総量決定、(3)発送作業等が決定次第お知らせします。

情報コーナー

♡チューリップの球根♡

長崎のハウステンボスで3月に行われる「チューリップ祭」。それにさきがけ、チューリップキャンペーンとして一足早い春を運びに2月19日に関西方面にもやってきます。その時に、一つずつ箱に入っているチューリップの球根を3千個ほど持ってきます。詳細及び球根ご希望の方は事務局 小島 まで。

お知らせ

♣次回全体会は、2月14日(水)18:00～20:00です。
お忘れずに！

事務局から

「じゃりみち」は自動送信でFAXしておりますので、深夜に届くこともあります。不都合でしたらご連絡下さい。また郵送している方の中でFAXのある方はお知らせ下さい。

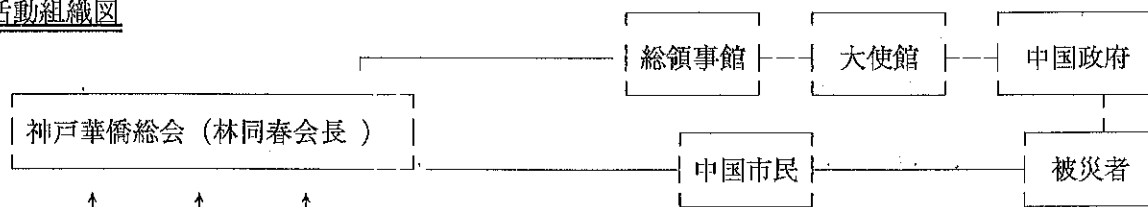
中国雲南省大地震緊急救援活動アピール(第一報)

去る2月3日午後7時14分頃発生した大地震は、大きな被害をもたらしています。私たちも1年前に同じ様な経験をし、多くの暖かな支援をいただきました。その何分の一でもお返しをと考え、サハリン大地震に続いて以下のような緊急救援活動を展開したいと存じます。皆様の迅速なご協力を心からお願い申し上げます。

なお今回の緊急救援は同じ神戸市民である華僑の人々が進める支援活動への全面バックアップとして展開したいと思います。

阪神大震災地元NGO救援連絡会議
代表 草地 賢一

救援活動組織図



阪神大震災地元NGO救援連絡会議 ・ コープこうべ ・ 神戸YMCA ・ 神戸YWCA
(財)兵庫県国際交流協会 ・ (財)神戸国際協力センター ・ (財)神戸国際交流協会 など

考え方

阪神大震災で同じように被災した市民として、この度の緊急救援活動を神戸華僑総会を支援する形で展開する。中国と最も密接な関係を持って活動できる華僑総会へ緊急支援のチャンネルを調整してもらい、NGO・市民はその後方支援を展開する。

緊急行動

[1] 義援金の募集

各参加団体に募金を依頼し、NGO・市民関係は阪神大震災地元NGO救援連絡会議(口座番号は下記)へ”中国雲南地震救援”と明記し振り込む。連絡会議は華僑総会と連携してそれを同総会に回す。なお募金の使途は①被災者への直接支援②ボランティアレベルでの輸送・配分に関わる間接経費支援を含む。

郵便振替口座	00970-7-39728
口座名義	阪神大震災地元NGO救援連絡会議

[2] 緊急救援物資

とりあえず①毛布・衣料(新品) ②非常用食料
③懐中電灯・乾電池 ④携帯ラジオ・スベア用電池 ⑤かいろ

[3] ◎募金は直ちに開始していただき当連絡会議に「中国雲南地震救援」と明記し振り込んで下さい。

◎物資は空輸・海上輸送・陸上輸送等ルート进行调整していますので、取りあえず下記へお送り下さい。

〒650 神戸市中央区中山手通り一丁目28-7 カトリック社会活動神戸センター

責任者 石井望神父 電話078-271-3248

なお、物資の内容は必ず何がいくつあるか一覧表をつけて下さい。

併せて輸送費の一部負担2000円も上記郵便振替口座に振り込んでいただくようお願いいたします。

問い合わせ先 阪神大震災地元NGO救援連絡会議「中国雲南地震救援」係

〒650 神戸市中央区栄町通4-3-5

電話078-362-5951

★中国雲南省大地震救援活動（第三報）★

＜救援物資＞

カトリック社会活動神戸センターに連日届く物資は延べ100人余りのボランティアがチェック、仕分け、梱包作業を行っています。各箱の両サイドには「敬愛同胞 災区人民 齐心协力 克服困難 振興加油 重建家園」と書かれた特製のステッカーを貼り、中身の表示とリストアップがされます。こうして2月15日までに毛布・衣料品等5トン余りの救援物資を通関手続き待ちの倉庫に運びました。これらの物資は2月21日に第1便として中国雲南省僑務弁公室宛送られる予定です。今後は2月末を目途に第2便向け物資を整理していきます。

＜贈呈式＞

上記物資と、2月15日までに当連絡会議に寄せられた義援金の一部500万円を神戸華僑総会林会長にお渡しします。その贈呈式が関係者立ち合いのもと、下記の通り行われます。

日 時：2月18日（日）午後1時～

場 所：カトリック社会活動神戸センター

〒650 神戸市中央区中山手通1-28-7

★サハリン報告会開く★

ロシア・サハリン教会の金完一牧師による報告会は、2月6日の西宮35名、7日の神戸31名の参加で行われ、金牧師の行っておられる父母を失った子供たちのケアやサナトリウム訪問活動の様子などを中心に話が進められました。「被害にあった人に大切なことは、将来への希望を与えることである」という言葉を通して、弱い立場の人々といかに共に生きていくかという課題は阪神大震災と共通であり息の長い支援が必要であることなどが確認されました。又、サハリンは日本と韓国両国に特別な関係があるという歴史的な事柄にも話題がおよび、NGO連絡会議が行ったサハリン支援活動の荷造り、搬送作業を担った若いボランティア達の参加者にとって、よい学びの場となりました。

【やります】

☆「えんぴつの家まつり」

日時：3月3日（日）11:00～16:00

場所：神戸市東部在宅障害者福祉センター
（JR灘駅南）

プログラム：

1部／えんぴつの家昨日・今日・明日

2部／パフォーマンスタイム

フロアではえんぴつの家各事務所、応援の生きる場作業所が店を出します。当日弁当も販売しています。詳細等は「えんぴつの家」（TEL 078-252-0109）に問い合わせ下さい。

☆「フェニックス長田素人カラオケ大会」

日時：4月7日（日）13:00～16:30

場所：防災コミュニティーセンター長田消防署4階

往復葉書にて〒、住所、氏名年令、性別、歌手名、出場に関するメッセージを一言書いて下記に申し込んで下さい。エントリー料は無料、参加賞あり。申込み多数の場合は抽選します。カセットのカラオケテープを持参して下さい。

〒653 神戸市長田区二葉町7-2-6 駒久二塚フェニックスステーション

締切 3月5日

なお、当日の運営ボランティアも募集しています。

【募集します】

☆昼は余っていませんか

カトリック鷹取教会ボランティア基地と兵庫県定住外国人生活復興センターが支援している、テント村で昼が30分ほど必要になっています。お心当たりの方は兵庫県定住外国人生活復興センターまでご連絡下さい。

（TEL 078-731-6926 FAX 078-731-6927）

☆ボランティア募集

「魚住フリーマーケットの会」ではベルマークを集めて被災地の学校に贈り、教育設備を整える手伝いをしていますが、この取り組みのチラシの配布やポスターの掲示に協力してくれるボランティアを募集しています。また、集まったベルマークを希望する学校の情報もあわせて募っています。連絡は同会まで。

（TEL 078-946-4554）

【FMわいわい開局のお知らせ】

複数言語によるコミュニティーFM放送局「FMわいわい」が長田区のカトリック鷹取教会内で、1月17日正午に放送を開始しました。毎日7:00～24:00にベトナム語・スペイン語・タガログ語・英語・中国語・韓国語・日本語の各国語の番組で放送枠を分けています。周波数は77.8メガヘルツで長田区全域と兵庫区、須磨区の一部で聞けます。

☆☆ 事務所の移転・撤退等ございましたらNGO連絡会議事務所までご連絡ください。

☆☆

☆☆ パソコン通信で情報発信をご希望の方は当方で入力代行いたしますのでご連絡ください。

☆☆

★中国雲南省大地震救援活動（第四報）★

～神戸華僑総会通して雲南省に物資、義援金送る～

皆さんに呼びかけ、2月3日中華人民共和国雲南省麗江地区で起こった大地震救援活動を展開していましたが、これまでに義援金（輸送費含む）一千万円以上、衣類や毛布などの救援物資7トン以上集まりました。

2月18日に開かれた贈呈式には、阪神大震災地元NGO救援連絡会議、コープこうべ、神戸YMCA、神戸YWCA、（財）兵庫県国際交流協会、（財）神戸国際協力センター、（財）神戸国際交流協会、アジア・アフリカ環境協力センター、阪神大震災救援グループ・ちびくろ、曹洞宗国際ボランティア会、カトリック社会活動神戸センター等から関係者が集まり、第1次分として義援金500万円、物資約5トンを神戸華僑総会に託しました。また義援金約10万円を寄せた神戸市立神戸生田中学校の生徒会役員3人も参加し、「何かしなくてはと思い全校に呼びかけて集めました。役に立てて下さい。」と日中両語で書いた手紙を渡しました。神戸華僑総会からは林同春会長、劉友榮副会長、潘来日副会長が出席され、林同春会長は「ここに集められた物資、義援金は数千、数万の日本の人達からの善意です。中日友好は文字にしますと4文字ですがそれが具体化したのがここに 있습니다。阪神大震災地元NGO救援連絡会議をはじめ多くの関係団体の方々の人類愛、平和を求める気持ちが大きく団結したと思います。これらの物資、義援金は雲南省の被災した人々に配られ、復興への心の支えになるでしょう。物資、義援金を提供して下さいたくさんの方々に感謝の言葉を述べたいと思います」と謝辞を述べられました。

なお今回の第1次分の物資は2月21日中国南方航空で関西国際空港から雲南省に向けて発送しました。第2次分の物資は3月上旬を予定しています。関係団体ならびに皆様からのご協力に感謝いたします。救援物資は2月25日必着、義援金は3月15日まで受け付けています。

～物資仕分け現場より～

2月22日現在までに中国へ送ったもの、又は送る準備ができた箱の総数は約600箱です。物資の内容は、毛布・衣類がほとんどで使い捨てカイロやシュラフもありました。今回救援活動をするに当たり、倉庫（保管場所）、仕分け作業場所、運搬などを多方面の方に協力していただき活動が円滑になりました。活動拠点は「カトリック中山手教会」の中庭にアルジェリアテントを建てて「ちびくろ救援ぐるうぶ」と「SVA」の協力で行っています。（ボランティア数のべ約200人）物資の倉庫への運搬には量の少ないときには「ちびくろ救援ぐるうぶ」に、多いときには「コープムーヴィング」にお願いしました。倉庫の確保・通関手続き等は「アセック」にお願いし、最終的に「神戸華僑総会」にお渡しするという形で、色々な団体のご協力を頂いています。

3月初めの第2便に向けて、作業もほとんど終盤です。全国からの様々なご支援本当にありがとうございました。

（現場責任者 鈴木 隆太）

【やります】

☆シンポジウム「被災者のくらし再建へ 公的支援の拡大を求めて」

日時：3月16日（土）14：00～18：00

場所：神戸国際会議場（ポートアイランド）

シンポジスト：北山六郎（神戸弁護士会震災復興対策本部）
芹田健太郎（神大大学院国際協力研究学科長）
草地賢一（阪神大震災地元NGO救援連絡会議）
瀬尾 攝（兵庫県医師会長）

コーディネーター：三木康弘（神戸新聞社論説委員長）
総合司会：竹本成徳（コープこうべ理事長）

一人ひとりのくらし再建へ、抜本的な公的支援が必要なことを明らかにし、それを妨げている要因をどう突破し、具体的な公的支援策を実現するかを議論し、また、「公的支援」が歴史的にも、世界の潮流からみても、日本が成熟国家として世界の一員に加わるための重要なポイントであることを明確にする。

申込みは兵庫県医師会へ（FAX 078-371-7550）

☆☆

事務所の移転・撤退等ございましたらNGO連絡会議事務局までご連絡ください。

☆☆

☆☆

パソコン通信で情報発信をご希望の方は当方で入力代行いたしますのでご連絡ください。

☆☆